

いずみえん納涼祭での「こどもSOSの家」等の周知と住民ニーズの収集結果

質問1 [こどもSOSの家]を知っていましたか。

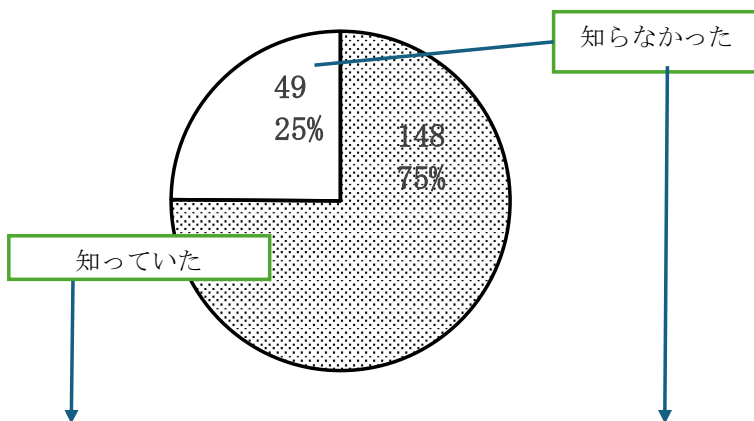
回答結果	知っていた		知らなかった		計	
	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
	82	66	36	13	118	79

(集計結果と考察)

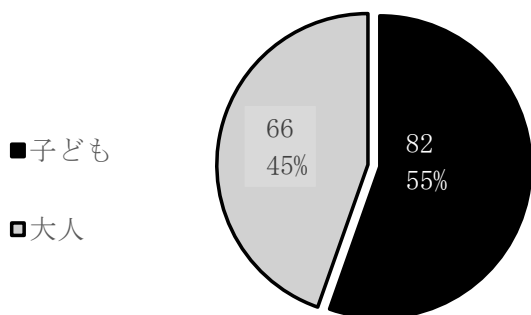
75%の認知度があることがわかった。ただし、こどもSOSの家のステッカーは、見たことはあっても何を意味するのかまで知らないという方もいた。

今回の取り組みを機に「こどもSOSの家」の目的を理解してもらうことが出来た。また、知っていても全然知らない家に助けを求めることにためらいがあるとの声もあり、協力員の方に参加して頂いたことで、身近に感じて頂けたと考える。

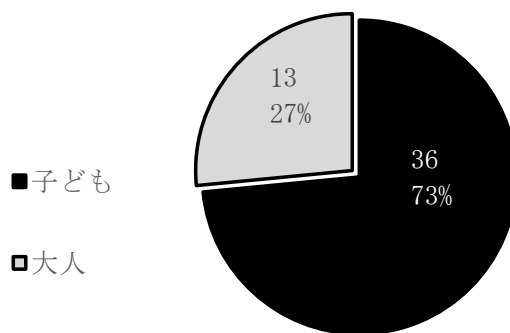
質問1 こどもSOSの家を知っていましたか



知っていた 148の内訳



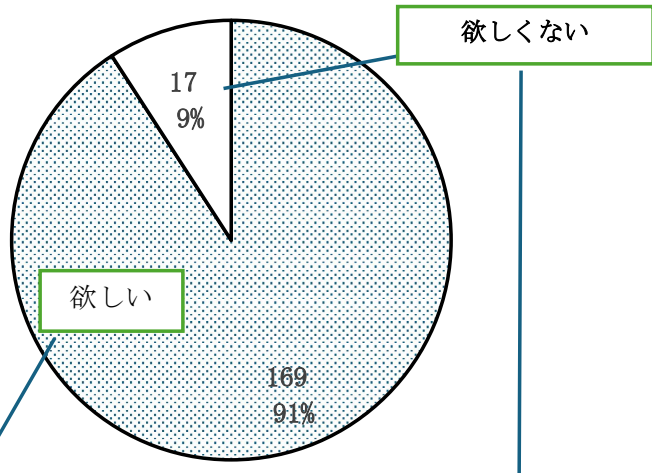
知らなかった 49の内訳



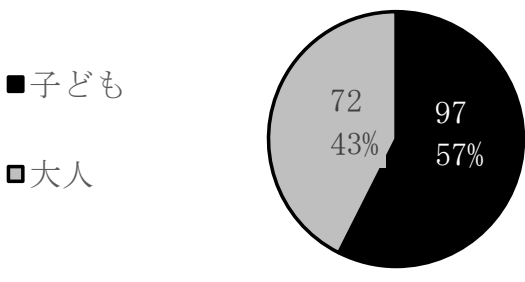
質問2 ホットとできる場所が欲しいですか。(学校、職場、家庭以外)

回答結果	欲しい		欲しくない		計	
	169		17		186	
	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
	97	72	14	3	111	75

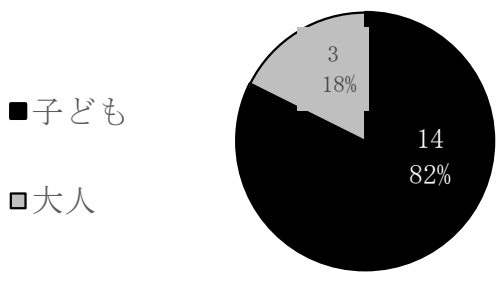
質問2 ホットとできる場所が欲しいですか
(学校、職場、家庭以外)



欲しい 169の内訳



欲しくない 17の内訳

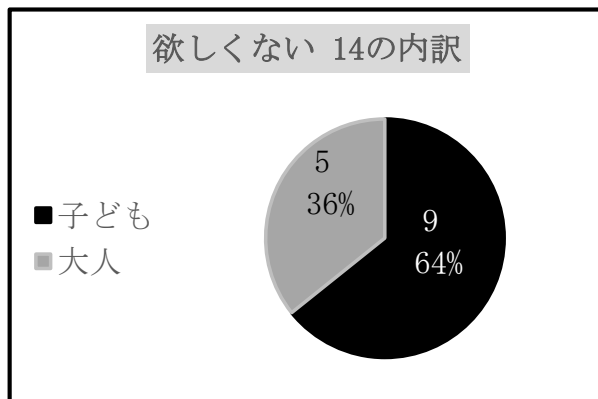
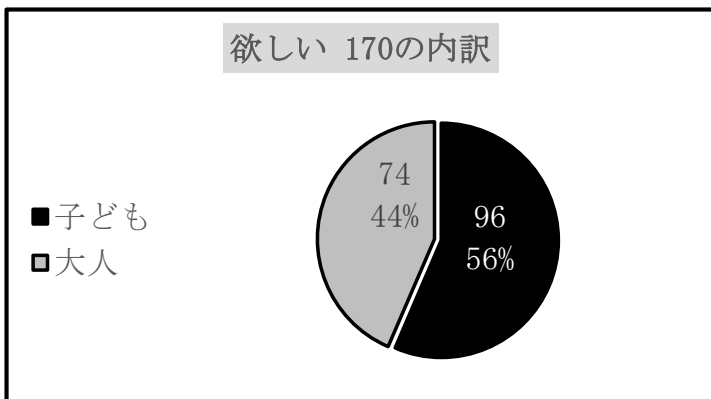
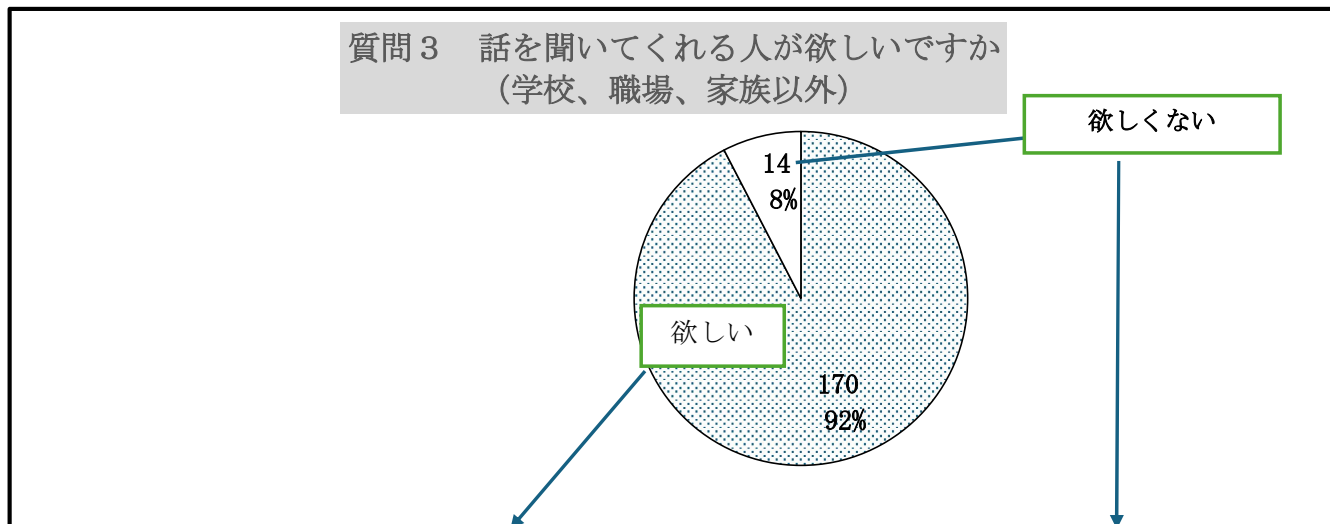


(集計結果と考察)

ホットとできる場所を求めている人が91%と多かった。
「欲しくない」と答えた方には現状に満足している方もいたが、ホットとできる場所や話を聞いてくれる人の必要性は感じているようであった。

質問3 話を聞いてくれる人が欲しいですか。(学校、職場、家族以外)

回答結果		欲しい	欲しくない	計	
		170	14	184	
子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人
96	74	9	5	105	79



(集計結果と考察)

話を聞いてくれる人を求めている人が92%と多かった。

質問2「ホッとできる場所が欲しい」と、質問3「話を聞いてくれる人」が欲しいと答えた方が大人も子どももほぼ同数いた。

このことから、場所と人はセットで切り離しができなく、安心できる居場所に信頼できる人がいることの必要性やニーズがあることが考えられる。

どんな居場所が求められているか、人によって好む環境は異なるが、その居場所にはどのような人がいるのかも踏まえた居場所づくり、人づくり地域づくりが重要と考える。